

LIBRARY NEWS

CHIKUSHI JOGAKUEN UNIVERSITY & JUNIOR COLLEGE LIBRARY

図書館大賞を作ろう!?

図書館長 木村 政伸

ちょうどノーベル賞が話題になっていますが、本の世界にもたくさんの賞があります。文学では芥川賞・直木賞に始まって多くの賞が乱立していますし、学術的な分野ではサントリー学芸賞なんかが有名です。これらの賞はその道の大家ともいるべき審査員がいて選定するのですが、こうした賞とはまったく別の選び方をして注目されているのが、本屋大賞です。全国の本屋さんの従業員が選定した「売りたい本」というふれこみです。

はじめてこの賞を目にしたのは、新宿の本屋さんでリリー・フランキー著『東京タワー』が店頭に平積みになっていた時でした。その時は手にはとったものの、帯の宣伝文句が気に入らずに買いませんでした。後で調べてみると、初回の受賞が小川洋子著『博士の愛した数式』だったことを知り、既に読んで感動していたので納得しました。

そうなると妙に気になり、歴代の受賞作を読んでみようということで、最近増えてきた古書店で探しては読むということを続けて、今年の沖方丁著『天地明察』まで全て読んでしまいました。個人的な好みはありますが、確かに、それぞれ売れる本だという印象は強く持ちました。

ひるがえって、大学図書館を考えて見ると、教職員が薦める本のリストは数多くあっても、学生が自分で読みたい、友達に読ませたい本のリストはなかったように思います。今、本学図書館でもさまざまな面で学生の参加を促す方策を考えていますが、学生による「図書館大賞」のようなものを作ってもおもしろいかもしれません。最近まで、8号館図書館入口に学生が選定した図書のリストを掲示し、好きな本の紹介記事にシールを貼ってもらう企画を行っていましたが、それらの結果を図書館の運営に反映させることができないか。

皆さんといっしょに明日の大学図書館を考えてみたいものです。

平成22年度学生図書委員の皆さん、お疲れさまでした!! ～今年の活動についての感想を寄せさせていただきました～

学生図書委員として、3年間務めさせていただきました。

「本が好き」という思いが、少しでも筑紫女学園大学の皆さんに伝わって、共有できればと思いながら過ごした、あつという間の3年間でした。

まだまだできることはたくさんあったと思うのですが、自分にとってはとても充実した経験でした。大学、学生という立場を超えて、多くの人が本に親しみ、図書館がよりよい場所となっていくよう、これからは期待したいと思います。

(高取)

選書をやってみて、私が好きな本を誰かが読んで、共感してくれていると考えると、本を選ぶのがとても楽しかったです。図書館で私が選んだ本を誰かが借りている時、選書委員をやってよかったと感じました。

(岩本)

学生図書委員になって、本屋で新刊の本を見たり市立などの図書館で本を探していると知らなかつた作家さんの本を読むと面白かったりするので、以前よりも本を読む機会が増えたので良かったです。

(大津山)

選書ツアーに携つて話題の本や新たに興味を持つ本などとの出会いがあり、学生図書委員の皆や書店の方との出会いがあり貴重な体験が出来たと思います。

あまり行った事のない書店に選書に行ったり、事前に本を調べなければならなかつたりと大変なこともありました。私たちが書いたポップで本に興味を持ってくれる方がいたりと嬉しいこともありました。来年も是非また図書委員として選書をしていきたいと思います。

(江藤)

私は学生図書委員になって、選書ツアーやポップ作りなど普段ではできない体験をさせていただきました。課題などで専門書を探しに利用することが多い図書館で、普段の息抜きに読む様な気軽な本や話題の本を置くことで足を運んでくれる利用者が増えてくれたら、という図書館の願いを少しでも叶える傾向に近づけていたらうれしいです。私の野望としては、好きなシリーズを全巻そろえることです。また来年もよろしくお願ひします。

(古賀)

私は今年度初めて選書委員に応募しました。選書委員をするにあたり、売れている本やベストセラーの本、周りの友人に図書館に入れてほしい本を調査しました。

普段あまり図書館を利用されていない方も今話題の本や最新の本を取り入れているのでぜひ図書館を利用してほしいです。

(阿久根)

私は、本に関わる事、図書館に関わる事が大好きなので、これまで何度も図書委員をしてきました。その為、大学に入学しても、また図書委員になれてとても嬉しく感じました。他の学生図書委員の仲間とも、「本が好き」という共通点から仲良くさせて頂いています。ユニークな同級生に優しい先輩がいて、とても楽しいです。こないだ学生図書委員の醍醐味である「第2回選書ツアー」にいってきました。素敵な本を選んできましたので、ぜひたくさんの方に読んで頂きたいです!

(風間)

平成22年度学生図書委員

高取 里衣（日本語日本文学科4年）
岩本 悠（日本語日本文学科3年）
阿久根宏美（日本語日本文学科3年）
大津山蓉子（アジア文化学科2年）
江藤 希（日本語日本文学科1年）
古賀 裕美（日本語日本文学科1年）
風間 愛理（アジア文化学科1年）
池田しおり（発達臨床心理学科1年）
黒木 仁美（発達臨床心理学科1年）
東 あ紀子（発達臨床心理学科1年）

<食べる>を読む

—図書館の契約データベース紹介その7—

1 秋から冬へ

21世紀最初の10年もそろそろ暮れようとしています。

街は色とりどりのイルミネーションが輝き、なんとなく人恋しくなる季節。そんな時、気の合う仲間と美味しい食事を楽しむと心が癒されます。

美味しいものを食べると幸せな気分になる人は、決して少なくないでしょう。でも、それは何故?皆さんにとって<食べる>とはどういうことですか?

今回は<食べる>ことについて調べてみましょう。



2 <食べる>本を探してみる

このところ“電子書籍”が何かと話題に上りますが、図書館の契約データベース「NetLibrary（ネットライブラリ）」もそんな“電子書籍”を集めたインターネット上の図書館です。

図書館ホームページ（<http://www.lib.chikushi-u.ac.jp>）の「契約データベース」一覧で「NetLibrary」をクリックすると、簡易検索画面が表示されます。ここで『食べる』と入力してみましょう。……すると、98冊の本がヒットします。本学図書館で購入している“電子書籍”（2010年12月現在247冊）の中から、本文に『食べる』という語が含まれているものを探してくれます。

もうちょっと的を絞って……というときは、“ホーム”に戻って検索窓の左にある『フルテキスト』を『キーワード』に変更して、もう一度『食べる』と入力してみましょう。……これで<食べる>を主題とする本「子どもの本と〈食〉：物語の新しい食べ方」が1冊ヒットしました。

タイトル左側の表紙イメージか、または内容抄録の下にある“このeBookを閲覧する”のどちらかをクリックするとこの本を読むことができます。

3 自宅で「NetLibrary」

自宅でインターネットが利用できるなら、「NetLibrary」画面右上の“無料のアカウントを作成する”で登録したIDとパスワードで“ログイン”すれば、自宅でも同じように「NetLibrary」の本を読むことができます。但しアカウントは必ず学校のパソコンで作成してください。また、毎年3月末にアカウントがクリアされますので、4月以降は新たなアカウントを作成する必要があります。

わからないことがあったり、もっと詳しいことが知りたいときは、遠慮なく図書館へお尋ねください。

4 <食べる>学術論文なら

次に、もっと学術的に<食べる>について考察するなら、「メディカルオンライン」がおすすめです。「メディカルオンライン」は医療、看護学、栄養学、衛生・保健・環境、介護・福祉など、私たちの健康に関するあらゆる分野の文献を集めた日本語の電子ジャーナル集です。

「メディカルオンラインライブラリー」トップ画面の右側にある“医学文献キーワード検索”窓に『食べる』を入力して“検索”すると、2,099件（2010年12月8日現在）がヒットします。

約800タイトルのジャーナルに収載されている論文が検索対象なので、“分野別”で選ぶか、発行年を指定するなど、どういう論文が必要かによって絞込みをしたほうが良いでしょう。

先程の検索結果で検索窓に表示されている『食べる』の後に『2010』を追加してみましょう。……すると132件に絞込みができました。更にまた『楽しい』を追加してみると……2件になりました。

そのうちの1件『鄭志華「飢えたご主人」』がちょっと気になったので、“アブストラクト”をクリックしてみます。ここで大体の内容を確認することができます。そして本文を読むには“文献ダウンロード”をクリック。

このデータベースは年間150文献までダウンロードができます。アブストラクトまでは無制限で見ることができるので、先にアブストラクトを見て必要な論文かどうか判断してください。

また、論文によっては“全文FAX送信”となっているものがあります。この場合は図書館へお問い合わせください。（「メディカルオンライン」は学外での利用はできません。）

5 おわりに

どのデータベースも利用が終ったら“ログアウト”を忘れずに。



協賛!

☆☆☆ 懐かしのPOP 人気大投票 ☆☆☆

今年は「国民読書年」です。九州地区の大学図書館では、10月27日（水）～11月9日（火）の読書週間を“Library Lovers’ Week”として、さまざまなイベントを展開しました。

本学では、2008年と2009年の学生図書委員の皆さんに紹介していただいた本の推薦文（POP）を8号館図書館入口に掲示して、“花”人気投票を実施しました。

その結果は・・・・

第1位

個性的な
ホスト探偵団が
夜の街を駆け巡る!!

加藤実秋著「インディゴの夜」
貸出回数も堂々の第3位でした!!

第2位

かわいいあのコに胸キュン。
だけど彼女は俺の部下

奥田英朗著「マドンナ」
切なさが共感を呼んだ?

第3位

「いらっしゃーい」
精神科医伊良部一郎と
その患者の物語
シリーズ第1弾!

奥田英朗著「イン・ザ・プール」
シリーズ第2弾「空中ブランコ」も絶好調。

第3位

お願いだから、私を壊して。

島本理生著「ナラタージュ」
う~ん。なんか刺激的。

第3位は同点でした。学生図書委員のコメントは本学蔵書検索結果の画面でいつでも見ることができます。『カテゴリ検索』の『学生図書委員選書図書』をクリックしてみてください。

読書感想文コンクール 入賞者

最優秀賞 鶴 仁 美 (日本語・日本文学科2年)

優秀賞 小 柳 春 菜 (日本語・日本文学科2年)

江 藤 ゆ り (日本語・日本文学科2年)

佳 作 井 本 章 (日本語・日本文学科4年)

安 山 久 美 (人間福祉学科3年)

澤 田 早 紀 (アジア文化学科2年)

入賞者の方々の作品は、図書館ホームページ上に掲載しています。自由にアクセスして読んでください。

発 行 筑紫女子大学・短期大学部附属図書館

〒818-0192 福岡県太宰府市石坂2丁目12-1

TEL 092(925)9910 FAX 092(925)3318

URL <http://www.lib.chikushi-u.ac.jp>

印 刷 久野印刷株式会社